



17号 令和4年6月30日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠



## 熱中症にならないために マスク どうする？

6月28日に中国地方もあまりにも早い梅雨明け。熱中症予防には、これまで以上に注意が必要です。そこで、気になるのが「マスクをどうする？」ということ。コロナが多少落ち着いてきたことを踏まえ、国のリーフレット等（令和4年5月25日付）では、大まかに言えば「十分な距離がとれば、マスク着用の必要なし」との見解が示されています。

このことを受け、学校では、現時点での国のマニュアルに従い、熱中症予防を踏まえたマスク着用の指導にシフトしているところです。

しかし、これまで、あまりにも長い間、マスクを着用することが習慣化しているため、暑い中でもマスクをはずすことに抵抗を感じる児童もいます。

そこで、学校では、近距離で会話をする活動や生活場面では、これまでどおりマスクを着用するよう、促しているものの、そうではない活動や生活場面（十分な距離がとれている・会話を行うことがない）では、マスクをはずすように丁寧に声かけを行っているところです。ご承知おきください。

<この他、本校が行っている熱中症対策>

- 1 授業中でも、他の人の失礼にならないタイミングで水分補給可としている。
- 2 教室の窓は10cm以上開けないようにした上で、カーテンを閉め、冷房の効きのよい状態を常時保っている。
- 3 休憩時間、外で遊ぶときは必ず帽子をかぶる。登下校時でもできるだけ帽子をかぶる。かさをさすことも可。
- 4 「暑さ指数」を常時測定し、31℃以上の場合、外での活動を中止。

## 呉空襲に思う

呉空襲から77年目を迎える明日7月1日。犠牲者のご冥福をお祈りし、恒久平和の誓いを新たにするために、当時の様子を振り返り、1分間の黙祷を行います。このことと合わせて、ロシアとウクライナの戦争のことも自分に引き寄せて考えずにはられません。

戦争とは、人のもっている醜さを行動に移すやり方としては、最も愚かなやり方。しかし、過去に起こした戦争も今まさに起こっている戦争も、時の為政者が起こした愚かな暴挙という整理だけに決してとどまてはいけない。今、自分自身が、日々の生活の中で、「人のせいにしていないか？」「すぐにおこっていないか？」「我がまます通していないか？」「人をいじめていないか？」「人に暴力を振るっていないか？」「ものをそまつしていないか？」「今、自分がここに確かに生きているということに感謝の気持ちをもっているか？」……。そんなことを日々自問自答し、自分自身の醜さを封じ込める努力を続けていくことこそ、平和な世の中を築くために、私にもできること。そう自分自身を改めて戒める機会にしたいと思います。

「呉の歴史絵本」より

